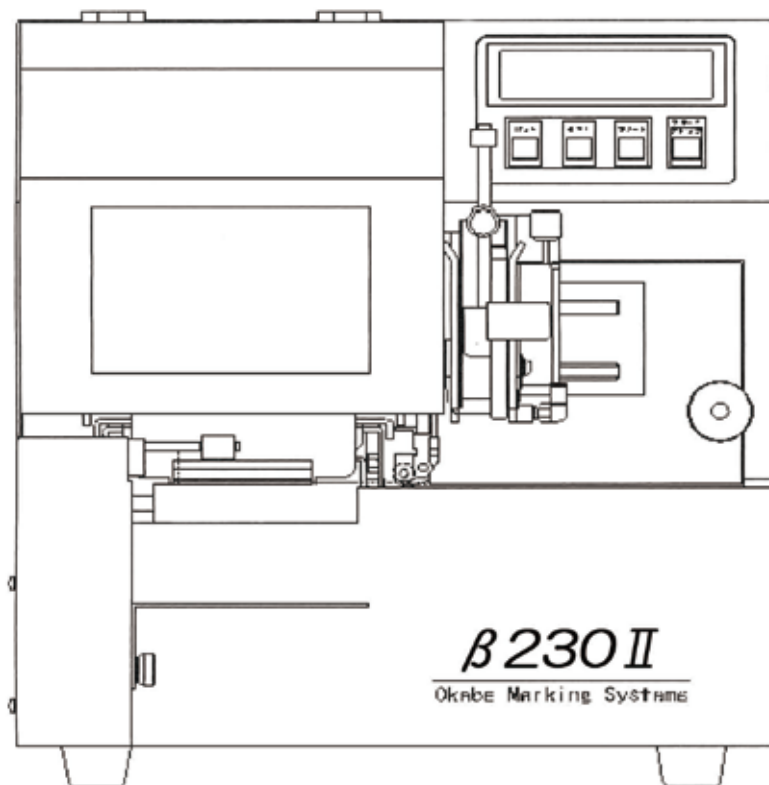


糸付単片札用バーコードプリンタ

B 230 II

取扱説明書

2019年7月24日 第3版発行



この製品を他の人に貸したり、譲渡するときには必ず本説明書を添付して下さい。

はじめに

β230IIは、パソコン及びホストコンピューターの印字情報に従って、糸付き、糸なしの単枚札に文字、バーコード、記号等を印字発行することができます。

本製品を正しくご使用いただくために、ご使用になる前に本取扱説明書を最後までお読みください。この取扱説明書は、わかりやすい場所に保管し、ご不明な点が生じたときにご活用ください。

※ ご注意 国外に持ち出す場合の注意について

この製品は、日本国内においてご使用いただくことを前提に製造、販売しております。したがって国外に持ち出しご使用になる場合の保守サービスは、お引き受けできません。また、国外の法規制による処罰、事故その他の不具合について、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

※ ご注意 機械の改良、変更等により本書のイラスト、記載事項がお客様の機会と一部異なる場合がありますのでご了承ください。

目次

	ページ
第1章 取扱い上の注意点	
1-1) 設置環境	1
1-2) 設置場所	1
1-3) 電源について	1
1-4) 取り扱い上の注意	2
第2章 仕様と外形寸法	
2-1) 仕様	3
2-2) 外形寸法	4
第3章 各部の名称と働き	
3-1) 前面	5
3-2) 左側面	6
3-3) 右側面	7
3-4) 付属品/オプション	8
3-5) 表示部と操作キーの働き	9
3-6) 表示部の表示内容と意味	10
第4章 印字 開始前の準備	
4-1) ケーブルの準備	12
4-2) 簡易スタッカーのセット	14
4-3) 設定モードのセット	15
4-4) リボンのセット	25
第5章 印字開始	
5-1) タグのセット	26
5-2) テスト印字	29
5-3) パソコンからのデータ受信	30
第6章 ヘッド及びプラテンローラーの清掃	
6-1) ヘッドの清掃	31
6-2) プラテンローラーの清掃	32
第7章 正しく動作しないとき	
7-1) ハード関係のエラー表示	33
7-2) オンライン関係のエラー表示	34
第8章 保守サービスおよび保障について	
8-1) サービスを依頼される前に	35
8-2) サービスコールの受付日時	35
8-3) 保守契約制度について	36
8-4) 保守契約の手続きについて	36
8-5) 保証 (保証書) について	36
8-6) 消耗品について	36

第1章 取り扱い上の注意点

プリンタの性能を十分に発揮させるため、また安全にご使用いただくために次のことに気をつけてください。

1-1 設置環境

- 直射日光の当たる場所、窓際などの明るい場所を避けて設置してください。
- 冷暖房機のそばを避けて設置してください。
- 振動する場所を避けて設置してください。
- 通気性、換気性の悪い場所や、ほこりの多い場所を避けて設置してください。
- 高温、多湿、低温、低湿の場所を避けて設置してください。

使用温度範囲：5～35℃

使用湿度範囲：20～85%RH(非結露)

- テレビやラジオの近くで使用しますと、映像が乱れたり雑音が入ることがあります。この場合にはテレビやラジオとは別のコンセントを使用し、バーコードプリンターをできるだけ離してお使いください。室内アンテナでテレビを見ている場合は、屋外アンテナの使用をお勧めします。

1-2 設置場所

- プリンタを水平に設置できる場所を選んでください。
- プリンタの周辺は、スペースをあけてください。

1-3 電源について

安全にご使用いただくために、次の注意を必ずお守りください。

- 静電気による故障、ノイズ障害防止や落雷、漏電などの危険防止のため、電源を接続する前に必ずアースを接続してください。
- 電源15A以上、無負荷時(プリンタを接続していない時)70VA以下、全負荷(プリンタを接続し運転している時)75VA以上の範囲で使用してください。
- 電源コードは濡れて手で取り扱わないでください。
- 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを抜く時は、常にプラグをもって抜いてください。
- プリンタの電源は、専用電源にしてください。
☆タコ足配線の使用は、誤作動の原因になります。
- 電源コードの踏みつけ、押しつけは自己の原因になりますので、コードの上に物を置かないでください。また、電源コードが踏まれないような場所に設置してください。

1-4 取り扱い上の注意

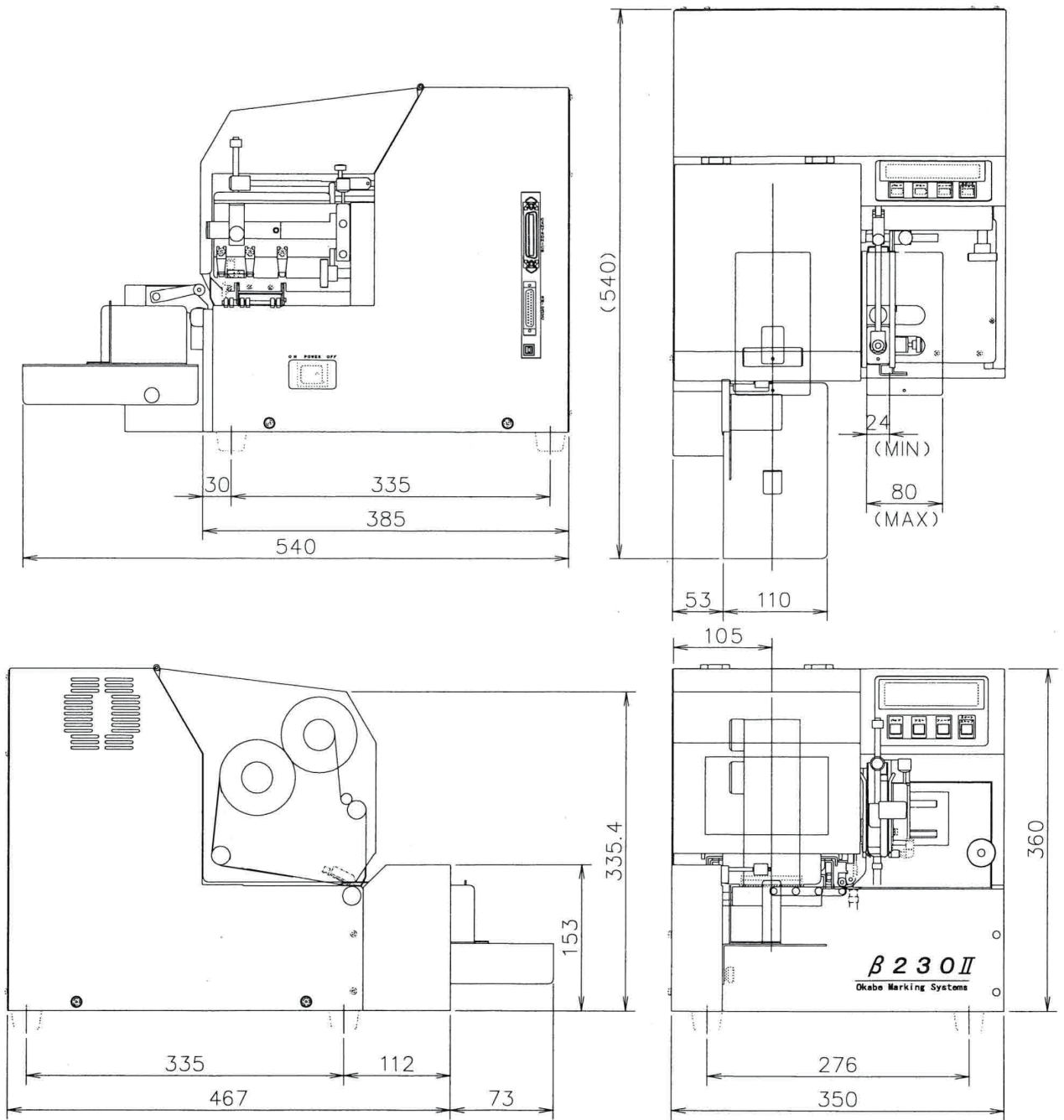
- 印刷中にプリンタを移動したりしないでください。
- 各コネクタを差し込む場合、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 取扱説明書で指示している部分以外は、絶対に自分で手入れや修理をしないでください。又、プリンタの改造や部品の取り外しは行わないでください。
- リボンカバーを閉じた状態で印刷を行ってください。
- プリンタ上部に物を置かないでください。
- 排気口をふさぐとプリンタ内部の温度が上昇し、故障、事故の原因となりますので、排気口をふさがないでください。
- 故障や異常(異臭、異常発熱、異常音など)に気付いたときは、ただちに電源を切り電源コードのプラグを抜き、当社技術部までご連絡ください。
- リボンの保存
高温、多湿直射日光を避けてください。
保存温度範囲：5～35℃
保存湿度範囲：45～85%RH(結露しないこと)
- タグ・ラベル保存
当社指定外のタグ・ラベルを使用する際には、当社販売担当者にご相談ください。
- タグラベルの取り扱い
プリントしたラベルの表面を先のとがったものなどで、こすらないでください。

第2章 仕様と外形寸法

2-1 仕様

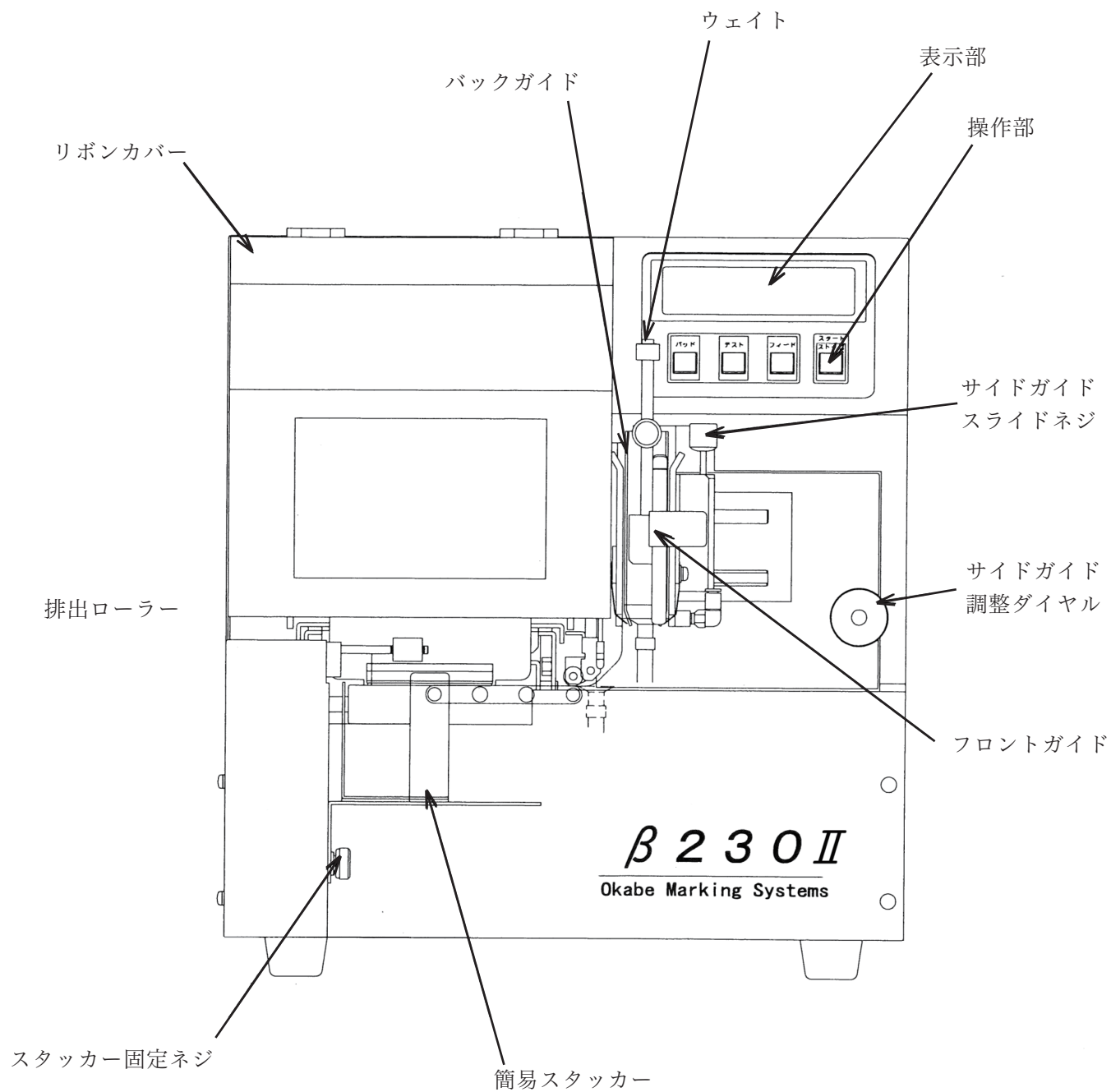
大きさ	350mm(幅)×380mm(高さ)×540mm(奥行) (排出ローラー部含む)
重さ	31kg
定格電源	AC100V±10% 50/60Hz
使用温度範囲	5～35℃
使用湿度範囲	20～85%RH(非結露)
保管温度範囲	5～35℃
保管湿度範囲	45～85%RH(非結露)
消費電力	起動時:250VA 停止時:70VA(コンプレッサー停止時) 動作時:200VA(印字率12.5%) 75VA(コンプレッサー起動時)
印字方式	熱転写方式
タグサイズ	最小 幅24mm・長さ39mm 最大 幅80mm・長さ150mm
有効印字幅	53mm(幅)×108mm(長さ)
ドット密度	12ドット/mm
印字速度	60～200mmsec(15段階)
バーコードの種類	JAN-13,JAN-8,NW7,CODE39,2of5(IND,MTR,INT),UPC-A, UPC-E,CODE128,PDF417,QRコード
文字種	文字01 2mm(幅)×2mm(高さ) 文字02 2mm(幅)×3mm(高さ) 文字03 3mm(幅)×3mm(高さ) 文字04 3mm(幅)×5mm(高さ) OCR-B 2mm(幅)×5mm(高さ) 1～9倍 英数 2mm(幅)×2mm(高さ) 1～9倍 英数s 0.67m(幅)×0.67mm(高さ) 倍率14種類 漢字 2mm(幅)×2mm(高さ) 3mm(幅)×3mm(高さ) 1～9倍 JIS第1・JIS第2水準ゴシック体 単語 3mm(幅)×3mm(高さ)・2mm(幅)×2mm(高さ) 450件 外字 1.33mm(幅)×1.33mm(高さ) 1～9倍 2mm(幅)×2mm(高さ) 1～9倍 各500個
インターフェース仕様	セントロニクス(IEEE1284)・RS-232C・USB2.0

2-2 外形寸法

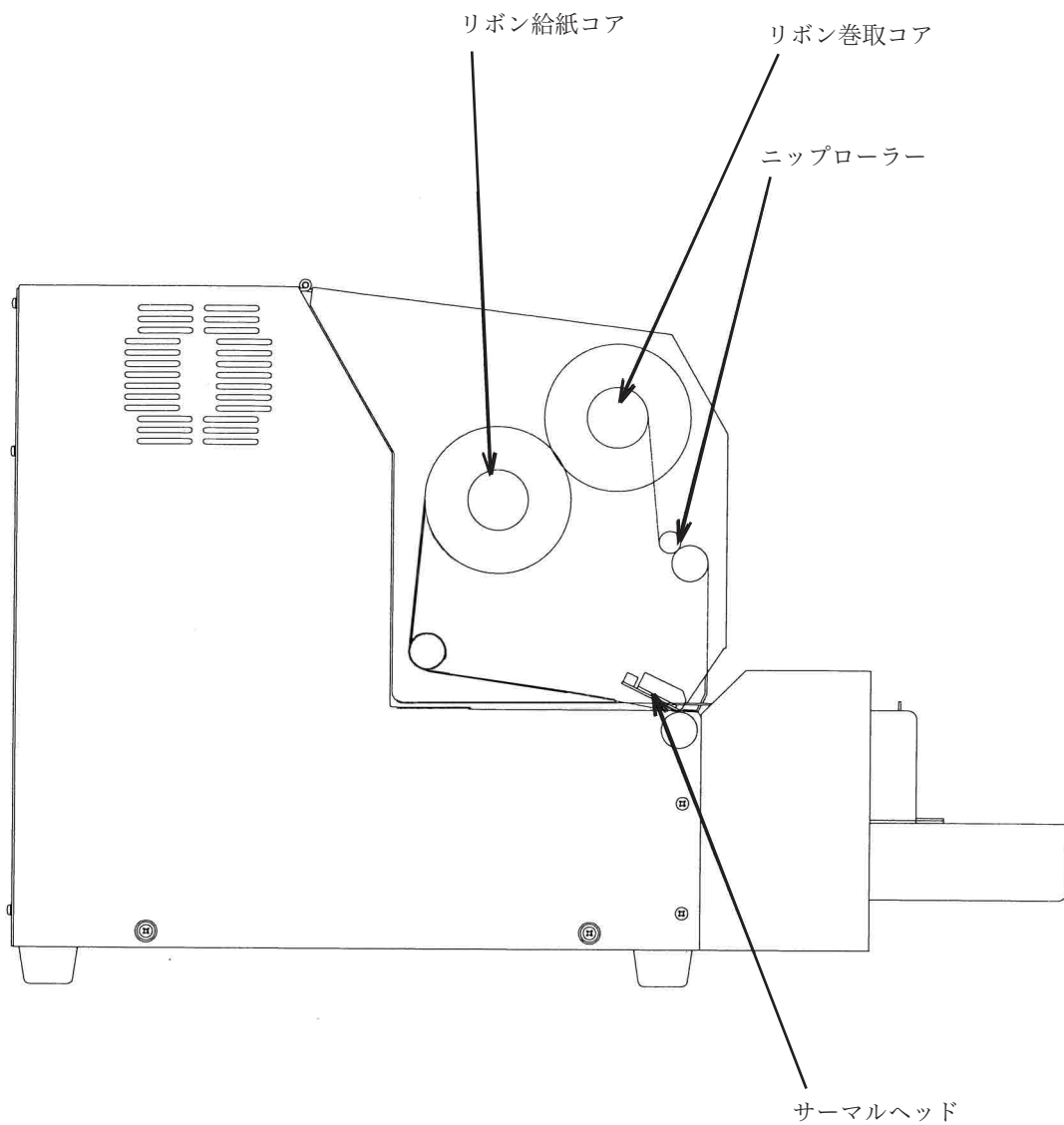


第3章 各部の名称と働き

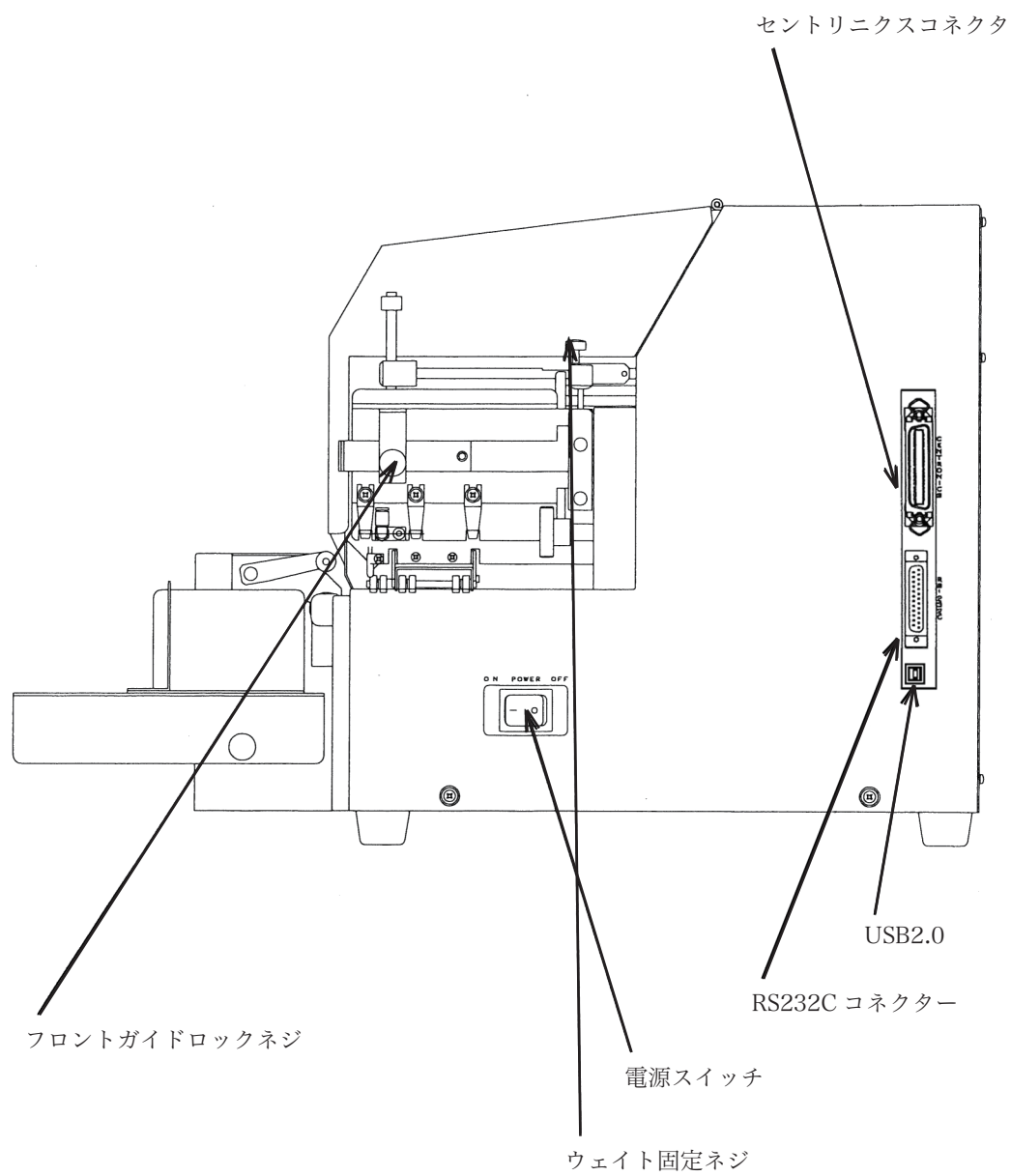
3-1 前面



3-2 左側面



3-3 右側面

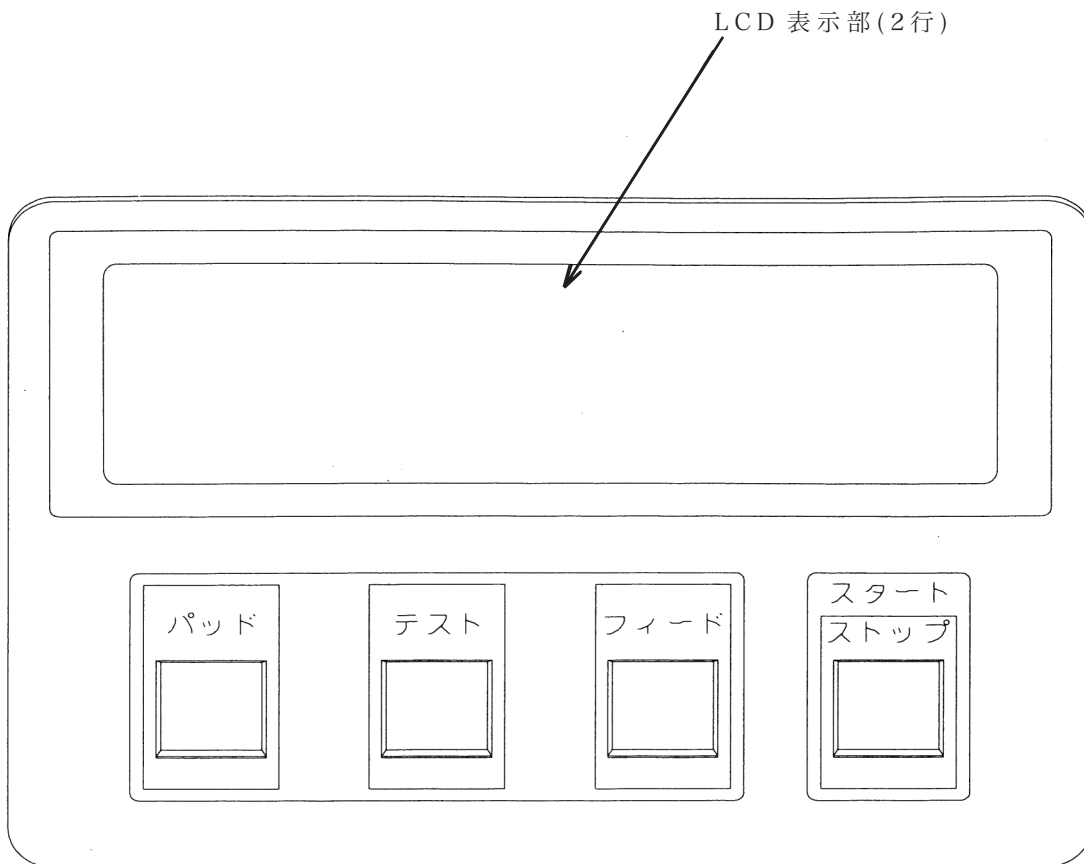


3-4 付属品 / オプション

付属品: 簡易スタッカー、電源ケーブル (2Pアース線付き)、リボン巻取コア
取扱説明書、保証書、ペンクリーナー (ヘッド専用)
クリーニングシート(ラッピングペーパー)

オプション: RS232C ケーブル、セントロニクスケーブル、クリーニングセット
USB ケーブル

3-5 表示部と操作キーの動き



スタート/ストップ

このキーを押すことにより、タグの発行停止を選択します。
また、エラー発生後このキーを押すことにより、エラー解除となります。
解除後、停止状態になります。
"テイシ"状態からフィードキーを押すと、設定モードになります。
(設定モードについては、別途ご説明いたします)

フィード

"テイシ"状態の時、このキーを押すことにより、リボンを送り飛ばします。
"レディ"状態の時このキーを押すことにより、ヘッドダウン状態にして、
リボンとプラテンローラーを送り飛ばします。

テスト

"テイジ"状態の時、このキーを押すことにより、テストパターンを1枚発行します。
(プログラム/ヘッドテストの結果を印字します。)
データの発行後"レディ"状態の時、このキーを押すことにより、直前に発行したデータ
と同じものを1枚印字します。

パッド

吸引パッドの数を選択します。初期設定は電源をOFFする直前の設定になります。
パッド数は1個でディスプレイは"P1"を表示します。吸引パッド数を2個にする場合
は"P2"を選択して下さい。

3-6 表示部の表示内容と意味

表示部の仕様は2ラインの16行表示です。

又、表示部には、4つのキーワードがあり英字、数字、カタカナ、記号で表示されます。

- 初期モード
- 通常モード
- エラーモード
- 設定モード

① 初期モードの画面表示

電源スイッチを“ON”にしたときに表示される画面です。

表示部には、

シヨキカチュウ

と表示後、

テイシ 120 P2 ランク
ヘッド テスト

この表示でヘッドテスト中であることを示します。

ヘッドテストが終了すると、ヘッドランクを表示し、次の表示になります。

テイシ 120P2 ランクC

テイシ : 印字停止中を示します。この時でもデータ受信は可能です。

120 : 印字速度*1が120mm/Sであることを示します。

P2 : 吸引パッド*2を2ヶ使用していることを示します。

② 初期モードでスタートキーを押した時の画面表示

レディ 120 P2 ランクC

レディ : 印字可能を示します。

120 : 印字速度*1が120mm/Sであることを示します。

P2 : 吸引パッド*2を2ヶ使用していることを示します。

③ ①の状態 でデータ受信した時の画面表示

テイシ 120 P2 ランクC
FFFFFFFFF NNN

テイシ : 印字停止中を示します。この時でもデータ受信は可能です。

120 : 印字速度*1が120mm/Sであることを示します。

P2 : 吸引パッド*2を2ヶ使用していることを示します。

FFFFFFFFF : 印字する直前のフォーマット名称を0~8桁まで示します。

NNN : 受信したデータの印字枚数*3を示します。

④ 通常モードの画面表示

②の画面表示でデータを受信した場合に次の画面に変わり、印字が開始されます。

```
レディ 120 P2 ランクC
FFFFFFFFF NNN
```

レディ : 印字可能を示します。
120 : 印字スピード*1が120mm/Sであることを示します。
P2 : 吸引パッド*2を2ヶ使用していることを示します。
FFFFFFFFF : 印字する直前のフォーマット名称を0～8桁まで示します。
NNN : 残枚数を示します。

⑤ 通常モードでストップキーを押した時の画面表示

印字発行中にストップキーを押したとき、次の画面に変わり印字を停止します。

```
レディ 120 P2 ランクC
FFFFFFFFF NNN
```

テイシ : 印字停止中を示します。この時でもデータ受信は可能です。
120 : 印字スピード*1が120mm/Sであることを示します。
P2 : 吸引パッド*2を2ヶ使用していることを示します。
FFFFFFFFF : 印字する直前のフォーマット名称を0～8桁まで示します。
NNN : 残枚数を示します。

⑥ エラーモード

例:データ受信前にテスト印字を行おうとした時に、タグがない場合次の画面に変わります。

```
E10: キュウイン エラー
```

E10: キュウインエラー : キュウインエラーが発生したことを示します。

例:データ受信前にテスト印字を行おうとした時に、タグインが出来ない場合次の画面に変わります。

```
E11: タグイン エラー
```

E11: タグインエラー : タグインエラーが発生したことを示します。

*エラーモードの詳細内容は、“第8章 正しく動作できないとき”を参照して下さい。

⑦ 設定モード

印字速度、印字濃度等をこのモードで設定します。

“テイシ状態”の画面からストップキーを押した状態でフィードキーを押すと

“モードセッテイ メニュー”が表示されます。

設定モードでは、設定されて内容を最大30件まで保存することが出来ます。

よって、タグの種類によって設定を決めていただき、タグにより設定されたデータ呼び出しで使うことが出来ます。設定モードには、設定登録／呼出、印字関係、通信関係、タグ取手関係の4つの項目を設定することが出来ます。

4つの項目の選択はパッドキーを押すことにより選択できます。

選択の決定は、スタート／ストップキーを押すことにより項目に入ることが出来ます。

各項目に入ると、テストキー／ストップキーでカウントダウン、フィードキーでカウントアップ、パッドキーで中の項目に切替、スタート／ストップキーで1つの項目の設定完了を示します。

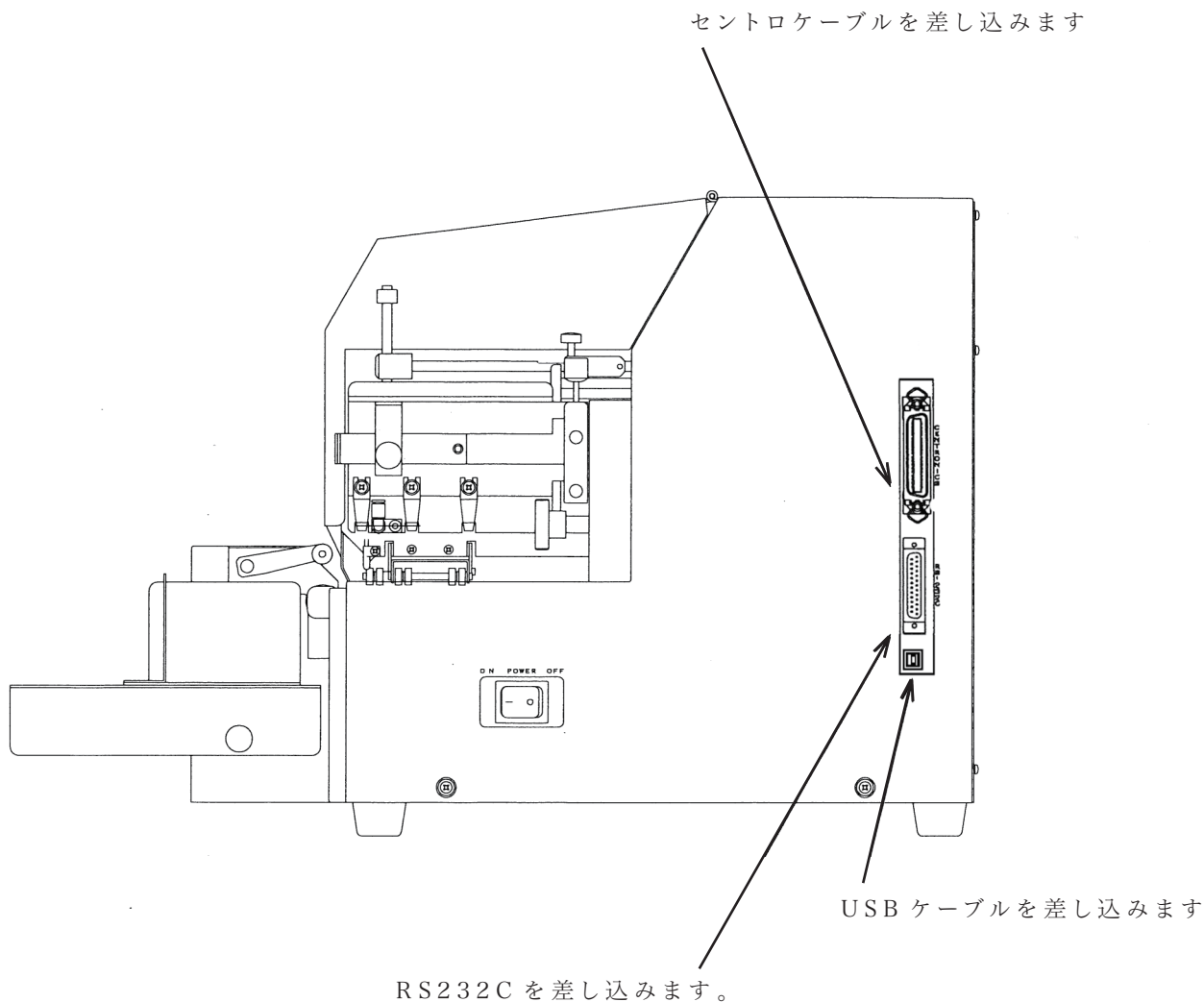
設定モードの終了は必ず、“シュウリョウ”でスタート／ストップキーを押して完了して下さい。

詳細は“第5章 印字開始前の準備”を参照して下さい。

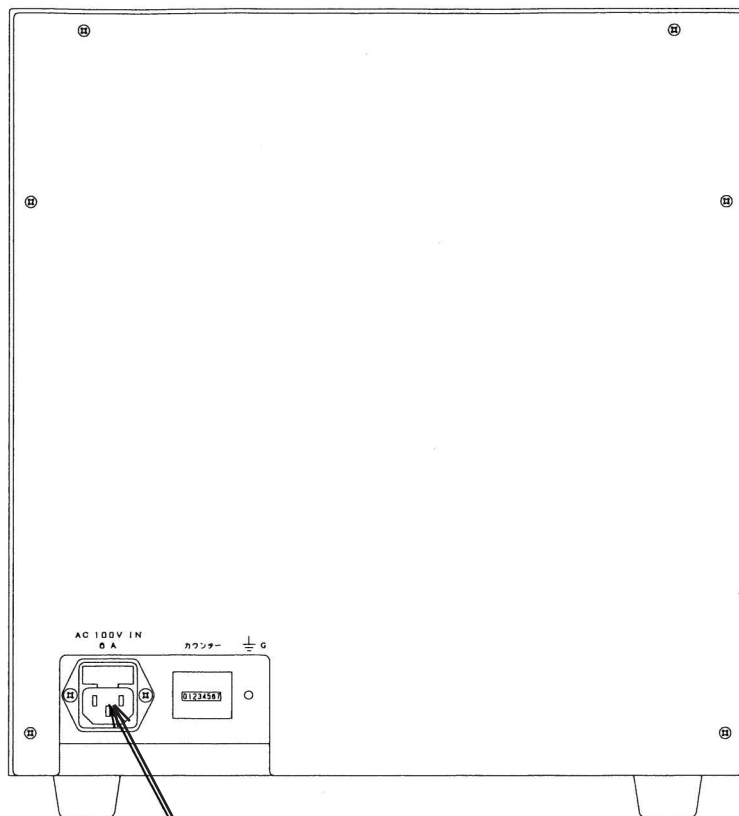
第4章 印字開始前の準備

4-1 ケーブルの準備

電源ケーブルと通信ケーブルを接続します。



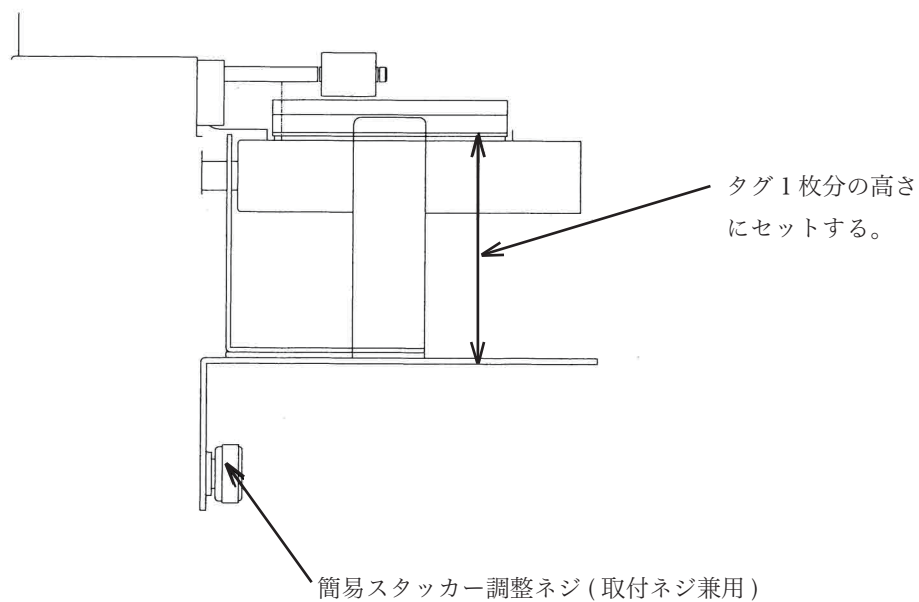
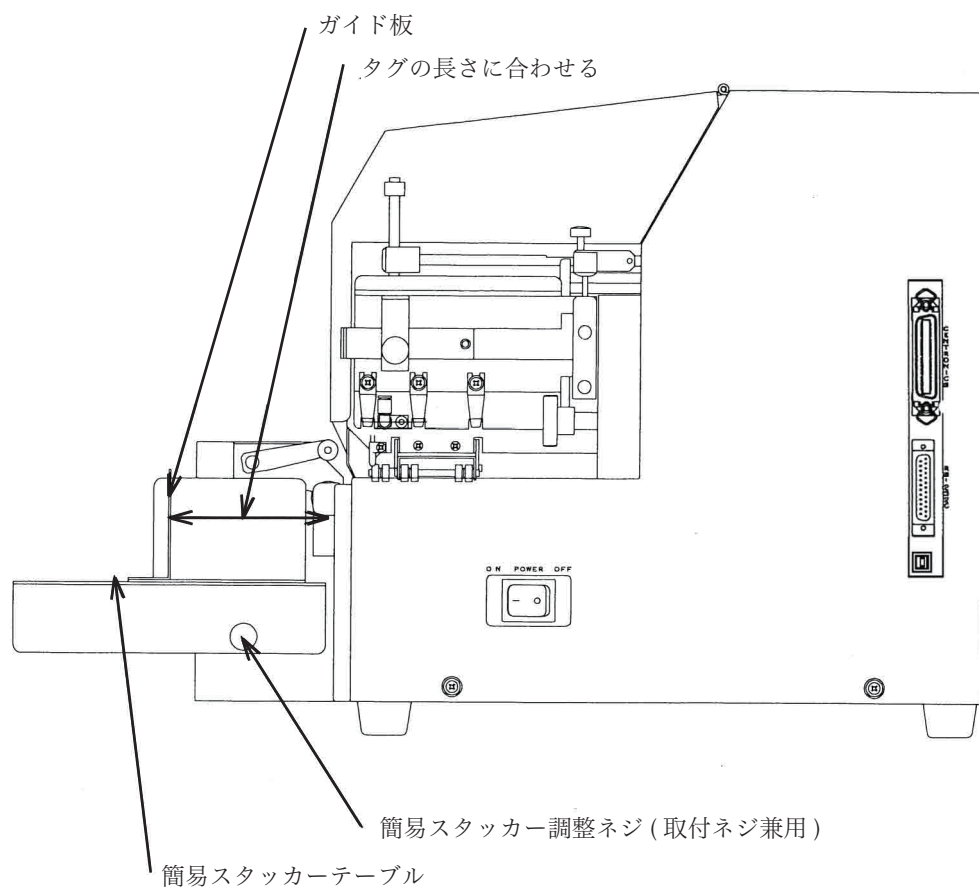
* いずれか1つ接続します。



電源ケーブル

4-2 簡易スタッカーのセット

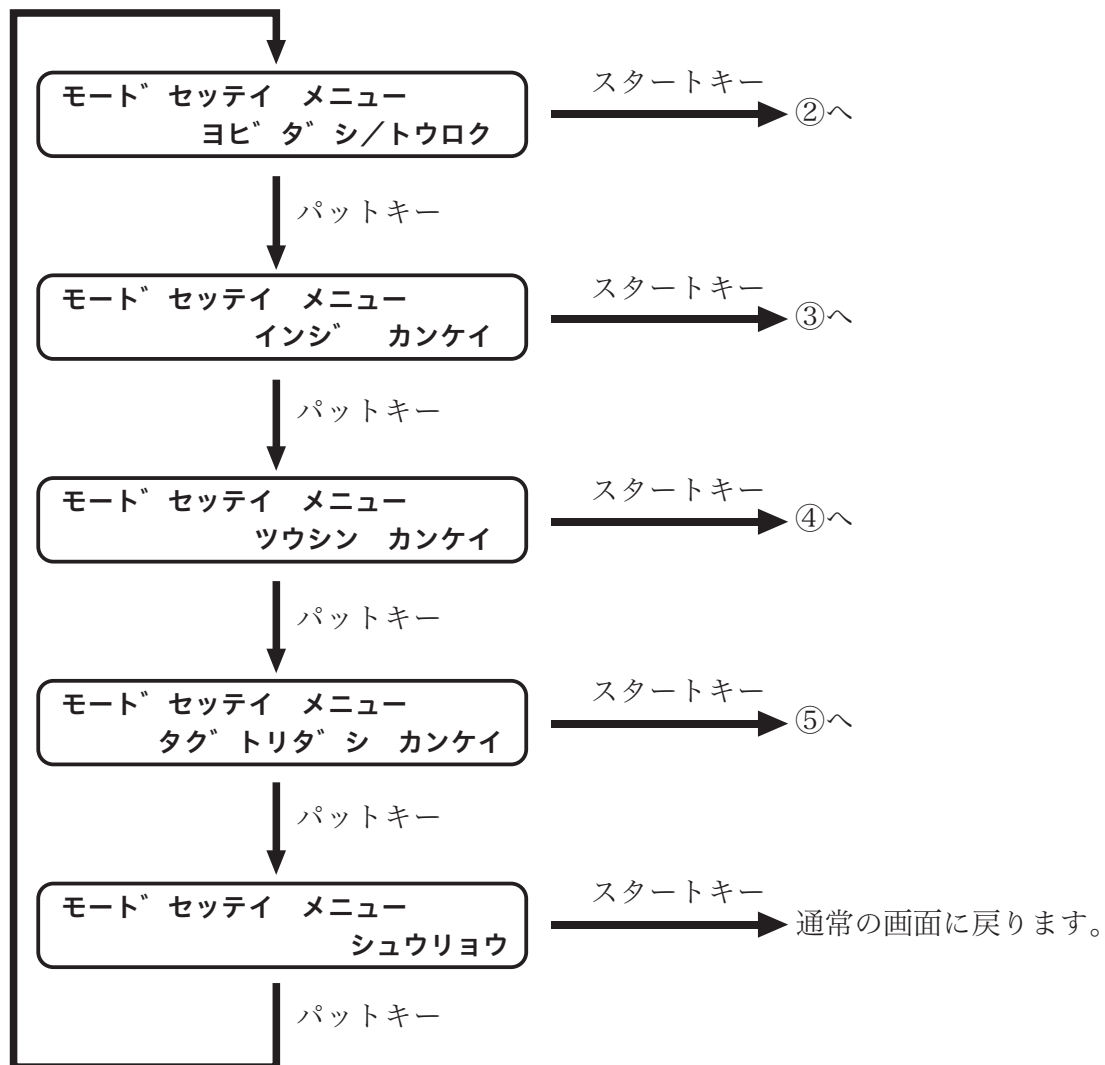
簡易スタッカーのテーブルを輩出ローラー部に取り付けます。



4-3 設定モードのセット

設定モードは、次の4つから構成されます。

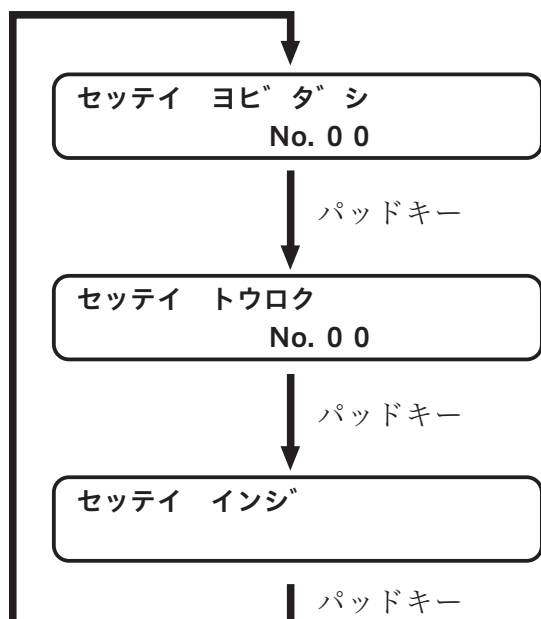
① 項目選択画面



②呼出／登録

このモードでは、設定された全ての内容を登録、呼出、現在の設定内容の印字を行うことが出来ます。

最大30件まで登録することが可能ですので、タグにあった設定を保存してタグ種類ごとに設定してご使用下さい。



1) 設定呼出

セッテイ ヨビダシ
No. 00

フィードキーを押すと、No.がカウントアップします。

テストキーを押すと、No.がカウントダウンします。

カウントは最大30まで、既に登録されている件数の範囲でカウントアップダウンします。

No.をあわせて、スタートキーを押すと登録されている内容を使用します。

No.00でスタートキーを押すと、設定呼出を中止し、項目選択画面に戻ります。

2) 設定登録

セッテイ トウロク
No. 00

フィードキーを押すと、No. がカウントアップします。

テストキーを押すと、No. がカウントダウンします。

カウントは最大30まで、既に登録されている件数+1までの範囲でカウントアップダウンします。

最大のNo. 値が新規登録時です。(但し、既に30件登録されているものに関しましては、この限りではありません)

No.をあわせて、スタートキーを押すと現在の設定が保存されます。

No.00でスタートキーを押すと、設定登録を中止し、項目選択画面に戻ります。

3) 設定印字

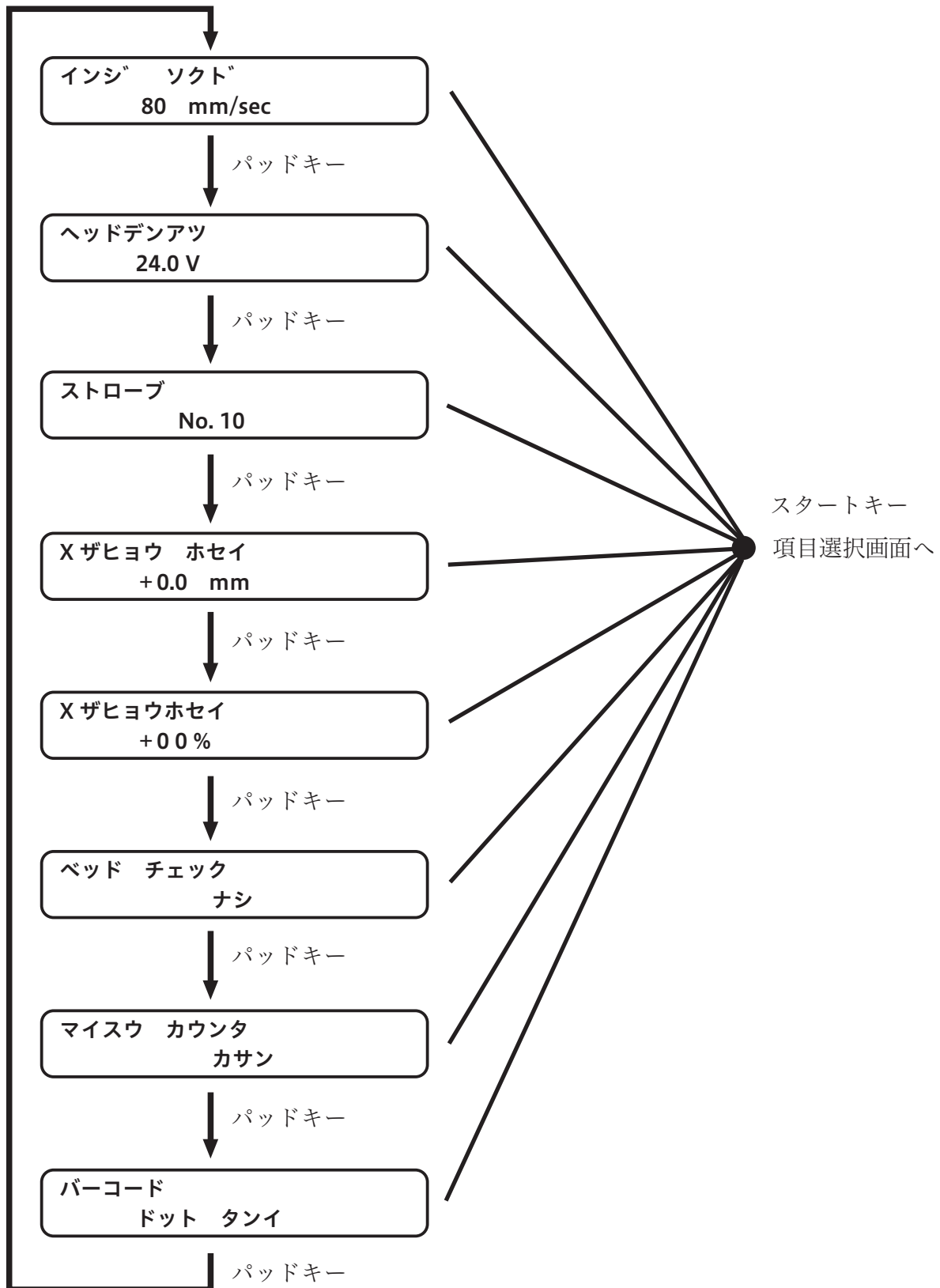
セッテイ インジ

テストキーを押すと、設定されている内容の一覧を印字します。

スタートキーを押すと、設定印字を中止し、項目選択画面に戻ります。

③印字関係

印字に関する設定をこの項目で行います。



1) 印字速度

インジ ソクド
80 mm/sec

印字速度を60mm/sec～200mm/secまでの範囲で設定できます。
フィードキーを押すと、スピードを10mm/sec単位でアップします。
テストキーを押すと、スピードを10mm/sec単位でダウンします。

2) ヘッド電圧

ヘッドデンアツ
24.0 V

ヘッド電圧を15.0V～24.0Vまでの範囲で設定できます。
フィードキーを押すと、ヘッド電圧を0.5V単位でアップします。
テストキーを押すと、ヘッド電圧を0.5V単位でダウンします。

3) ストロープ

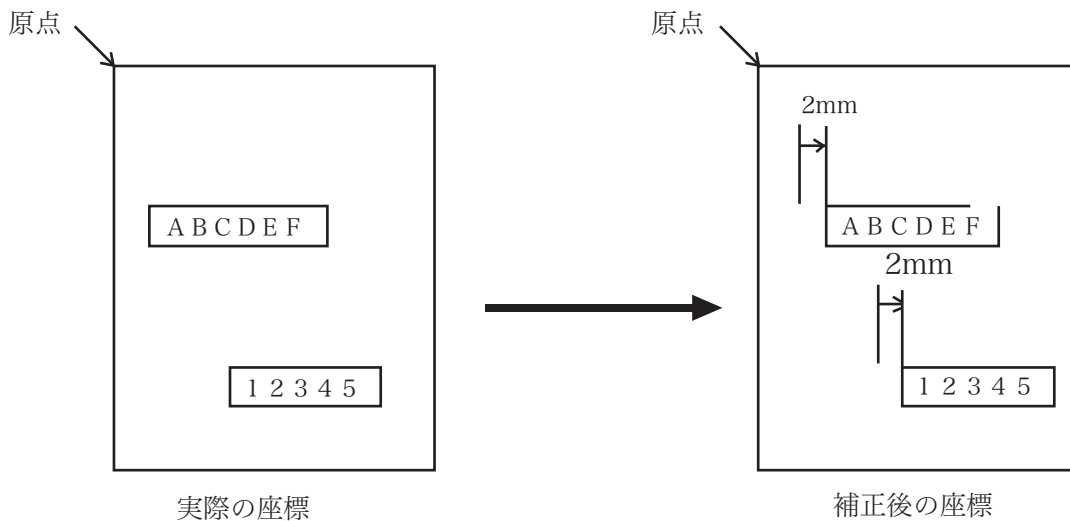
ストロープ
No. 10

ストロープを01～20までの範囲で設定できます。
数字が小さいほど印字が薄くなり、数字が大きくなるに連れ印字が濃くなります。
フィードキーを押すと、ストロープNo.をアップします。
テストキーを押すと、ストロープNo.をダウンします。

4) X 座標補正

X ザヒヨウ ホセイ
+0.0 mm

印字X座標を-4.0mm～+4.0mmまで補正できます。
フィードキーを押すと、X座標を+0.2mm単位でアップします。
テストキーを押すと、X座標を-0.2mm単位でダウンします。
例) +2.0mmで設定すると次のようになります。



但し、補正後 X 座標が実際のエリアより超えた場合の印字保証は出来ません。

5) Y 座標補正

Y ザヒョウ ホセイ
+00%

印字Y座標を-10%～+10%まで補正できます。

フィードキーを押すと、Y座標を+1%単位でアップします。

テストキーを押すと、Y座標を-1%単位でダウンします。

例) Y座標の設定が10.0mmのフィールドで補正值が+10%の場合、展開座標は11.0mmの位置に展開されます。これは全てのフィールドに有効となります。

但し X 座標同様補正後 Y 座標が実際のエリアより超えた場合の印字保証は出来ません。

6) ヘッドチェック

ヘッドチェック
ナシ

ヘッドテストを行うタイミングを変更することが出来ます。

フォーマットジュシニング、データジュシニング、50 マイゴト、ナシ
以上の4項目を選択できます。

選択はフィード、テストキーで行います。

フォーマットジュシニング : フォーマット情報を受信後データを印字開始する直後にヘッドテストを行います。

データジュシニング : データ情報を受信後、そのデータを印字開始する前にヘッドテストを行います。

50 マイゴト : 50 枚印字毎にヘッドテストを行います。

ナシ : 印字中ヘッドテストを行いません。

バーコードを使用されている場合、この設定を行わないでください。

ヘッド切れでバーコードの読みとりができなくなる可能性があります。

7) 枚数カウンタ

マイスウ カウンタ
カサン

枚数カウンタの方法を変更することが出来ます。

カサン、ゲンサン

以上の2項目を選択できます。

選択は、フィード、テストキーで行います。

カサン : 枚数カウンタを加算します。
フォーマット情報を受信して印字する毎にクリアします。

ゲンサン : 枚数指定コマンドで指定枚数の残枚数を表示します。
1 枚印字指令の場合は、1, 0 を繰り返します。

8) バーコード高さ

バーコード mm タンイ

バーコードの高さを変更することが出来ます。

ドットタンイ、mm タンイ

以上の2項目を選択できます。

選択は、フィールド、テストキーで行います。

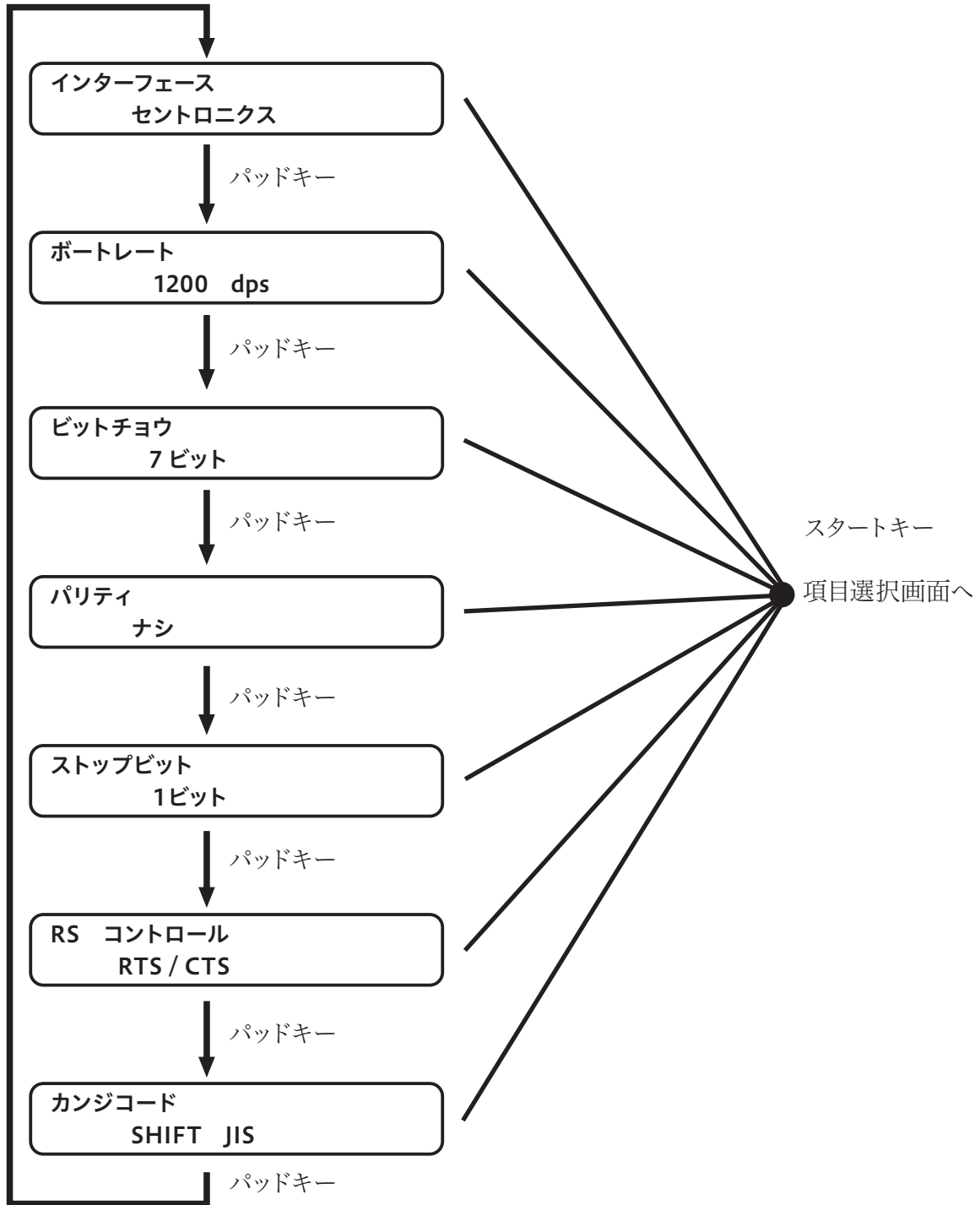
通常は mm タンイで使用して下さい。

ドットタンイ : バーコード高さデータをドット単位で受信します。

mm タンイ : バーコード高さデータを mm 単位で受信します。

④通信関係

パソコンとの接続に関する設定が出来ます。



1) インターフェース

インターフェース
セントロニクス

パソコンとの接続ケーブルを設定します。
フィードキー、テストキーでセントロニクス、RS-232C、USB2.0を選択します。

2) ボーレート

ボーレート
1200 bps

1) でRS-232Cを選択した場合の、転送速度を設定します。
フィードキーを押すと転送速度がアップします。
1200→2400→4800→9600→19200→38400
テストキーを押すと転送速度がダウンします。
38400→19200→9600→4800→2400→1200

※伝送エラー等不具合が発生する場合は、この速度を下げてください。

3) ビットチョウ

ビットチョウ
7ビット

1) でRS-232Cを選択した場合の、データ長を設定します。
フィードキー、テストキーで7ビット、8ビットを選択します。

4) パリティ

パリティ
ナシ

1) でRS-232Cを選択した場合の、パリティビットを設定します。
フィードキー、テストキーでナシ、グウスウ、キスウを選択します。

5) ストップビット

ストップビット
1ビット

1) でRS-232Cを選択した場合の、パリティビットを設定します。
フィードキー、テストキーで1ビット、2ビットを選択します。

6) RS コントロール

RS コントロール
RTS / CTS

1) でRS-232Cを選択した場合の、パリティビットを設定します。
フィードキー、テストキーでRTS / CTS、DSR / DTR、XON / XOFFを選択します。

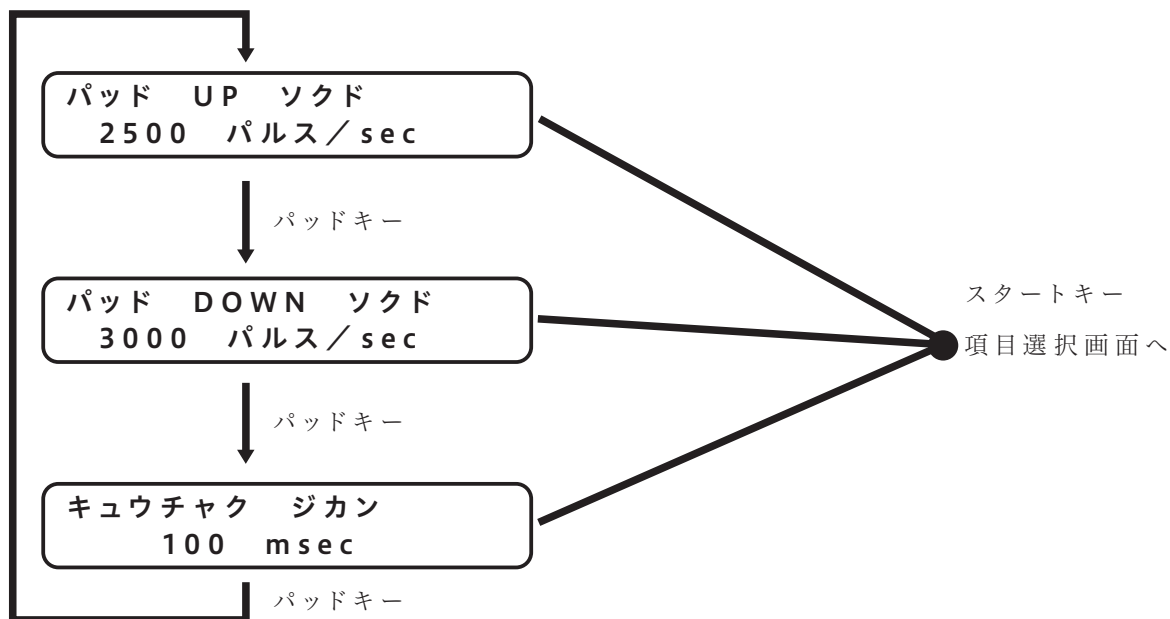
7) 漢字コード

カンジ コード
SHIFT JIS

転送される漢字コードの設定をします。
フィードキー、テストキーで次の項目を選択できます。
(SHIFT JIS、NEC JIS、JEF、JIS8、JIS、JIS7)

⑤ タグ取出関係

タグを吸引する動作を設定します。



1) パッドUP 速度

パッド UP ソクド
2500 パルス/sec

パッドをタグの方向に移動する速度を設定します。
設定範囲は、1000～3000パルス/secです。
但し、2500パルス/sec以上には上げないで下さい。
フィードキーを押すと、+10単位でアップします。
テストキーを押すと、-10単位でダウンします。

2) パッドDOWN 速度

パッド UP ソクド
3000 パルス/sec

パッドをタグの方向に移動する速度を設定します。
設定範囲は、1000～3000パルス/secです。
フィードキーを押すと、+10単位でアップします。
テストキーを押すと、-10単位でダウンします。

※パッド速度は、タグ厚さ及びタグの目等により変更する必要があります。
安定して取り出せる速度に設定して下さい。

3) 吸着時間

キュウチャク ジカン
100 msec

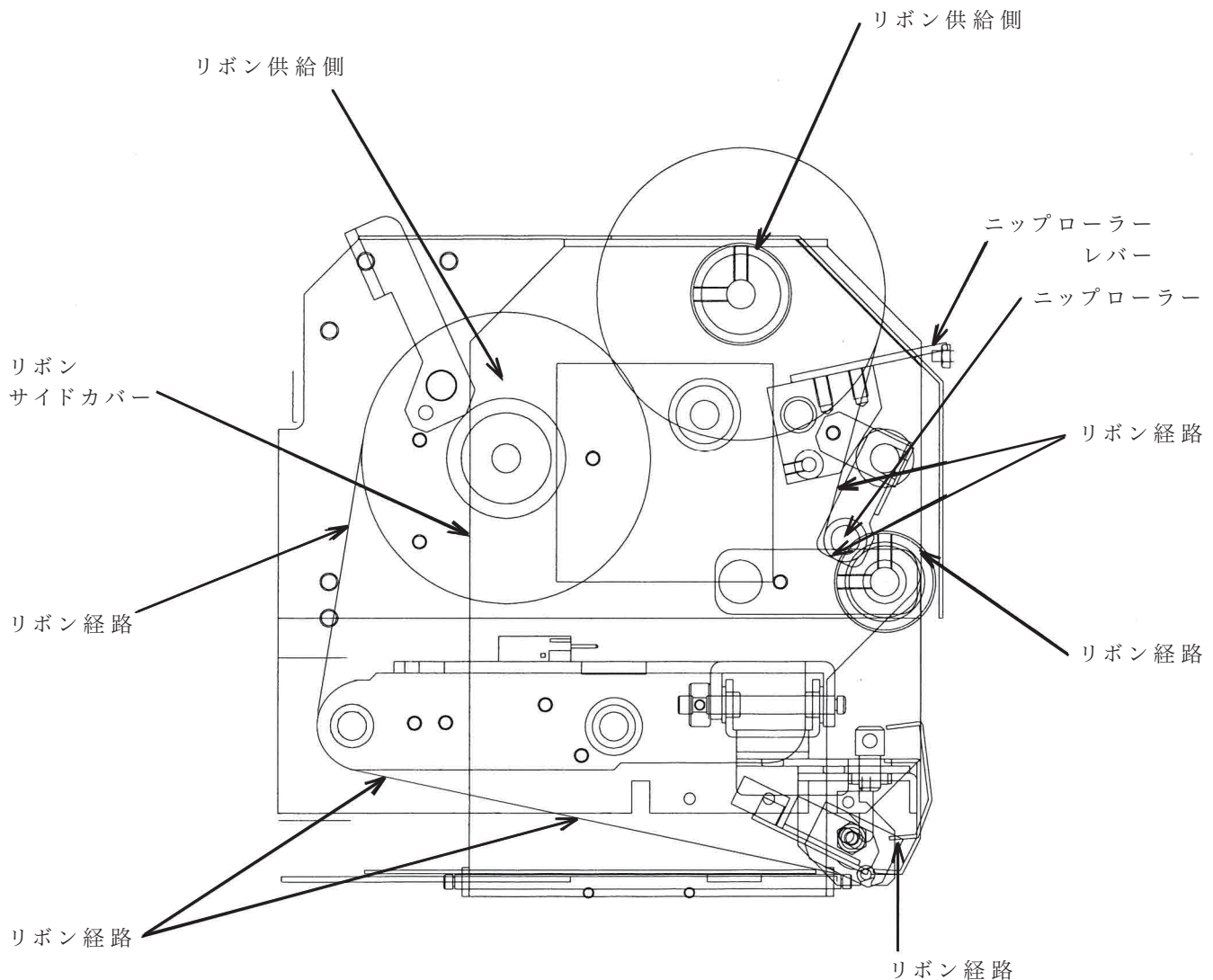
パッドが吸着して UP 状態で停止している時間を設定します。

設定範囲は、0～300m sec です。

フィードキーを押すと、+20 単位でアップします。

テストキーを押すと、-20 単位でダウンします。

4-4 リボンのセット



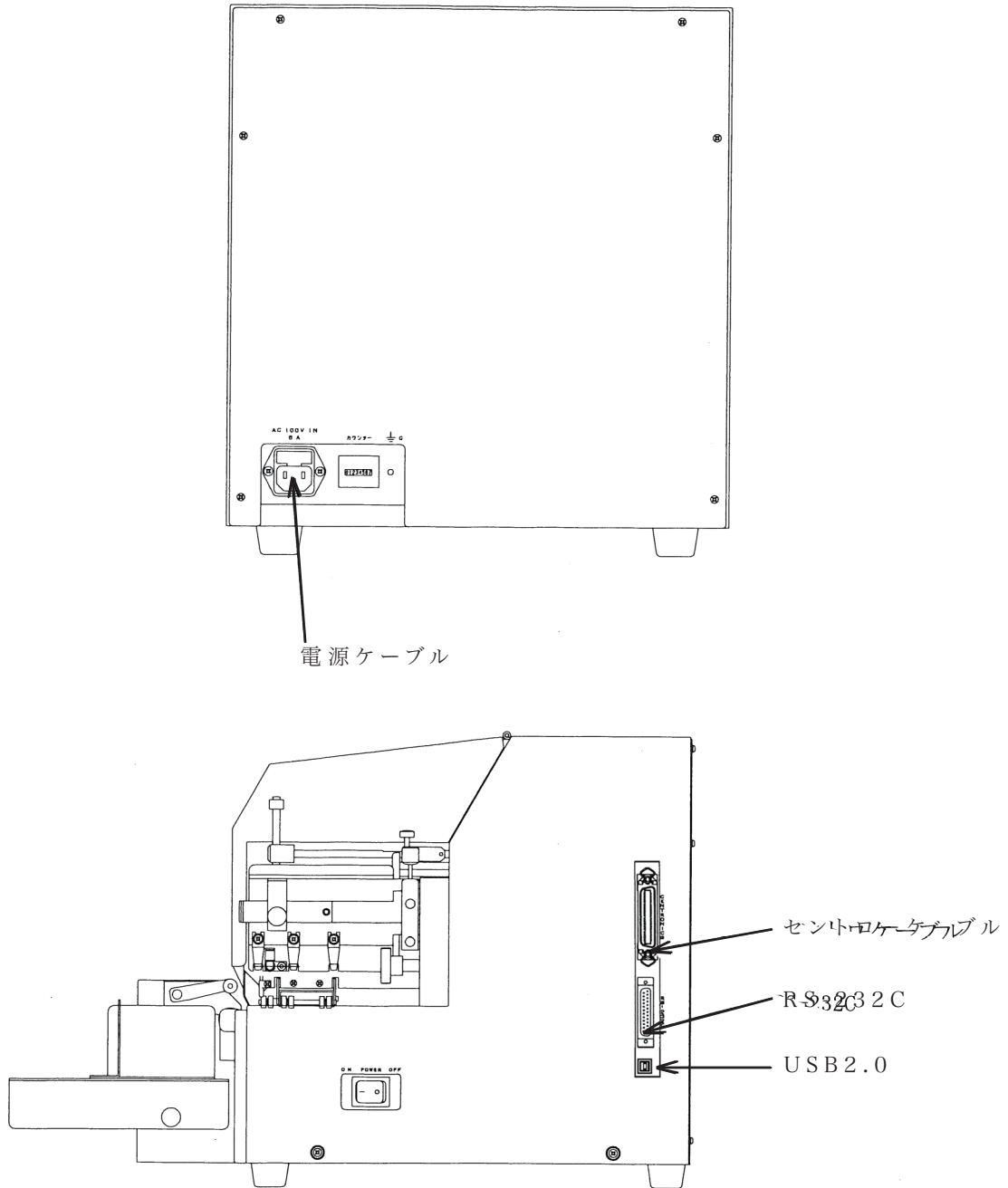
1. リボンカバーを開けます。
2. リボンサイドカバーを開きます。
3. ニップローラーレバーでニップローラーをアップします。
4. リボンとリボン巻取用紙管をプリンタにセットします。
リボン及びリボン巻取用紙管には切り欠きがあります。
リボン、リボン巻取軸の紙管止めに確実に差し込んで下さい。
(切り欠きがずれると正常にリボン巻き取りが出来ません)
5. リボンのリードテープを上記図の経路に従って通して下さい。
6. リボンセットが出来たら、ニップローラー、リボンサイドカバー、リボンカバーを閉めます。

※リボン幅は必ず 60 mm をご使用下さい。(それ以外を使用すると印字不良の原因になります)

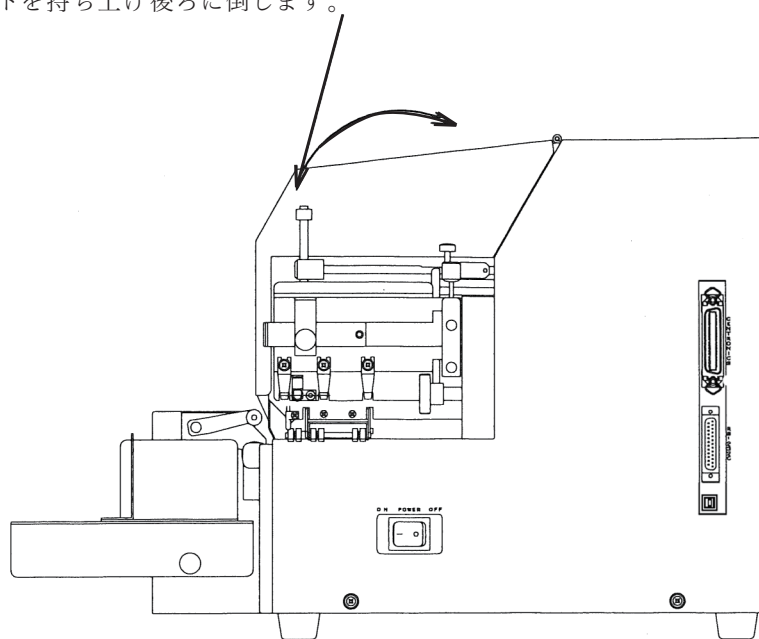
第5章 印字開始

5-1 タグのセット

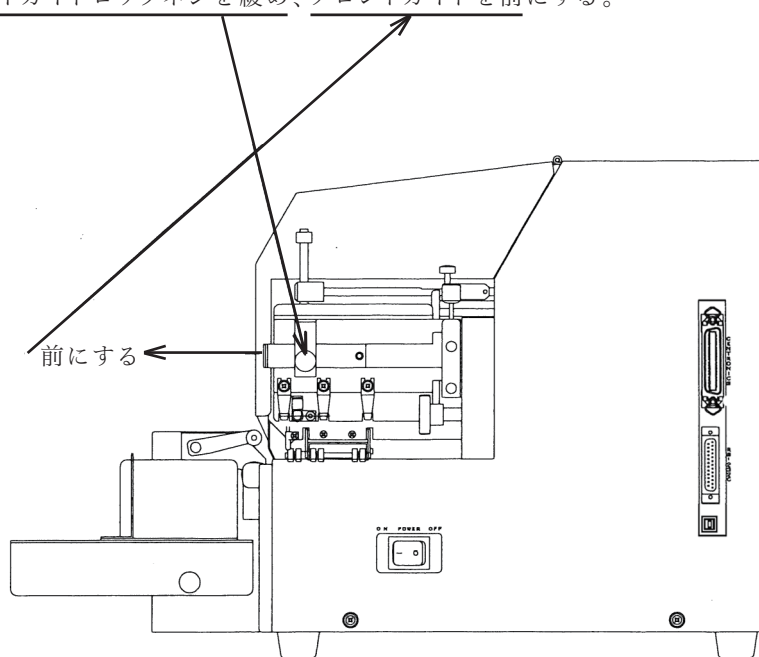
1. プリンタの電源ケーブルを接続します。また、通信ケーブルもあわせて接続します。



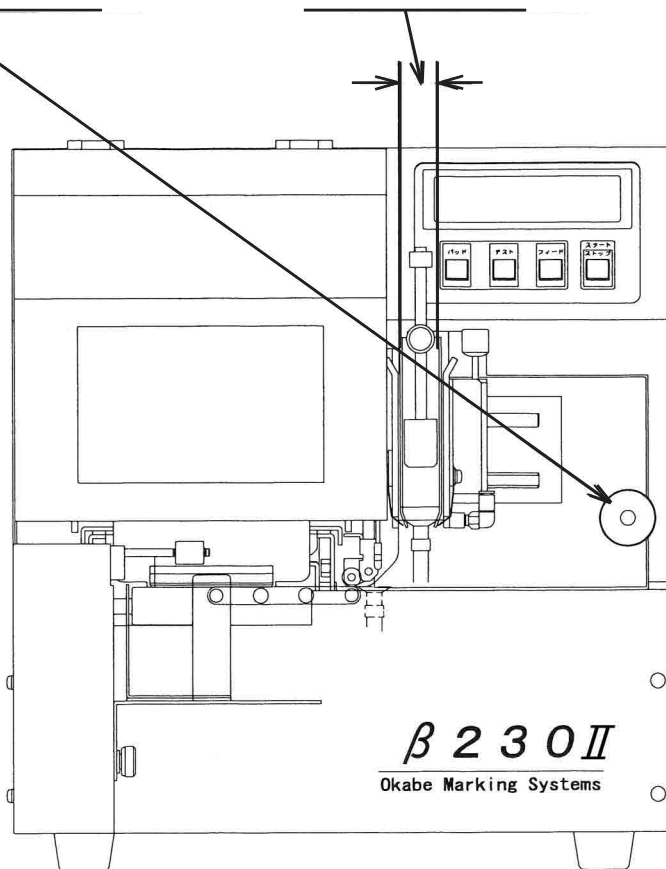
3. ウェイトを持ち上げ後ろに倒します。



4. フロントガイドロックネジを緩め、フロントガイドを前にする。

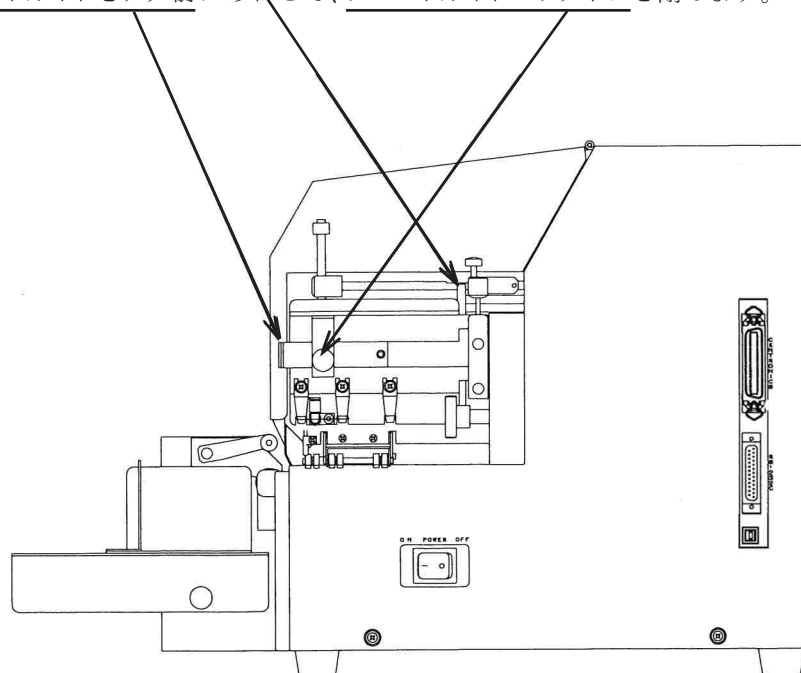


5. サイドガイド調整ダイヤルでサイドガイドをタグ幅にあわせませす。



6. タグをセットし、前後位置をバックガイドで調整します。

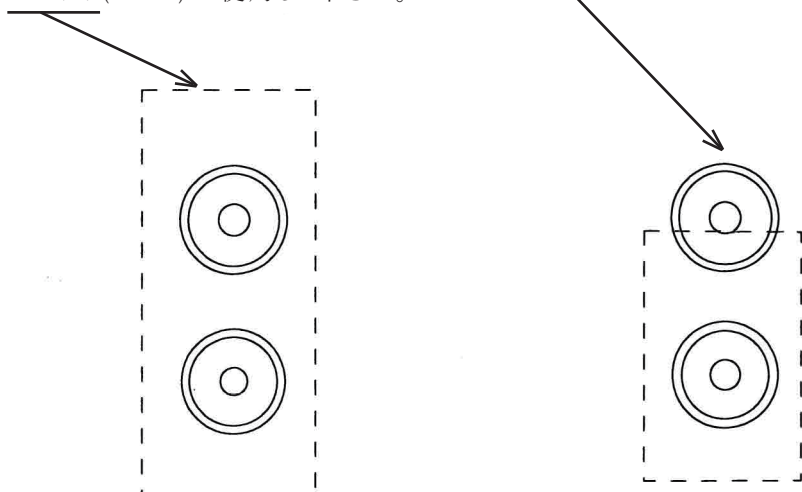
調整後、フロントガイドをタグ前にあわせて、フロントガイドロックネジを閉めます。



7. ウェイトを卸ろしタグの上に載せます。

8. タグサイズにあわせて吸引パット数を選択します。

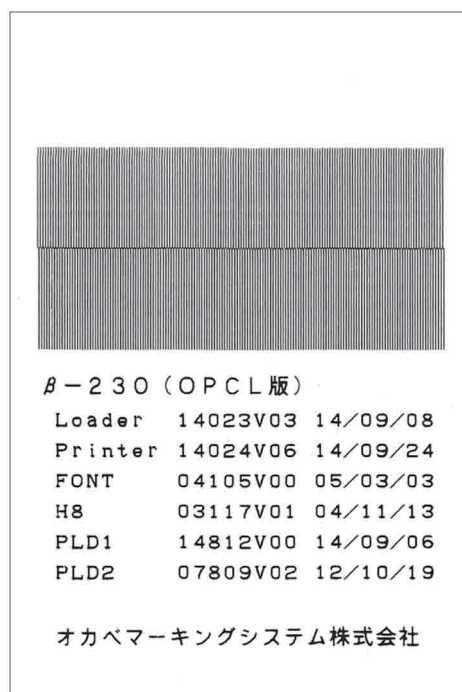
第2パットが完全に隠されていない場合は、1パット ("P1") で設定し、完全に隠されている場合は、2パット ("P2") で使用して下さい。



9. 以上で完了です、印字発行を行って下さい。

5-2 テスト印字

テイシ状態の時にテストキーを押すことにより、タグを1枚送りテストパターンを印字します。



テイシ 120 P2 ランクE
ヘッドテスト

ヘッドテスト終了後、上記テストプリントを行います。

テストプリント終了後、ヘッド不良の場合は表示部に

E 3 0 : ヘッド フリヨウ

と表示されます。

この場合には、ヘッド交換が必要ですので、当社メンテナンス部またはサービスステーションまでご連絡ください。

5 - 3 パソコンからのデータ受信

ケーブルが接続されていることを確認して、スタート/ストップキーを押し次の画面に表示を戻して、パソコンからデータを送信してください。

レディ 1 2 0 P 2 ランク E

第6章 ヘッド及びプラテンローラーの清掃

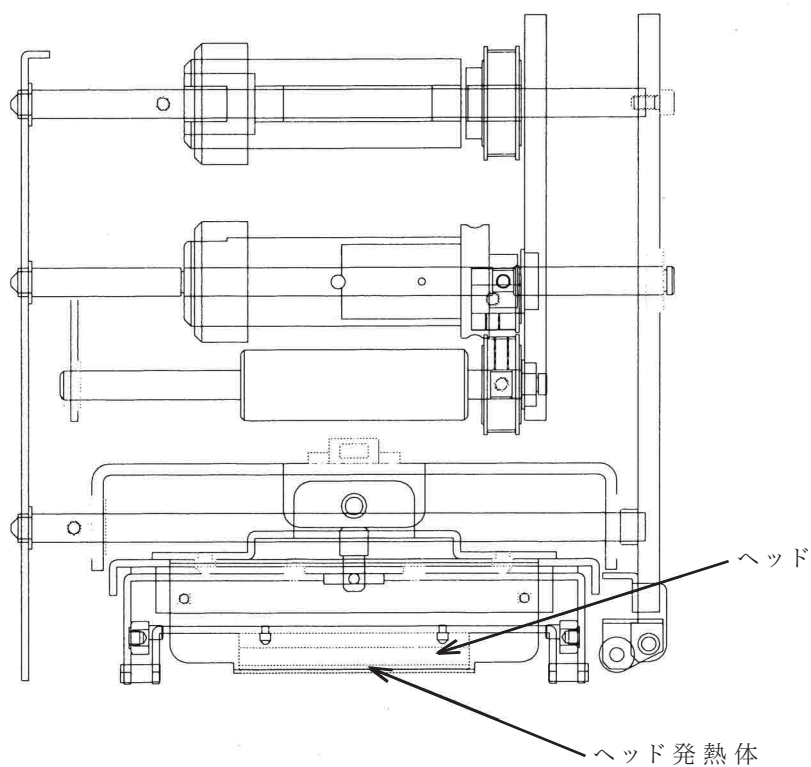
6-1 ヘッドの清掃

1. 電源スイッチを“OFF”にします。

※必ず電源スイッチを“OFF”にして行ってください。

2. リボンを手前に引き出し、ヘッドの発熱体部分をペンクリーナーで清掃します。

※付属品のペンクリーナーは、ヘッド専用です。ペンクリーナーでプラテンローラーを絶対に清掃しないでください。



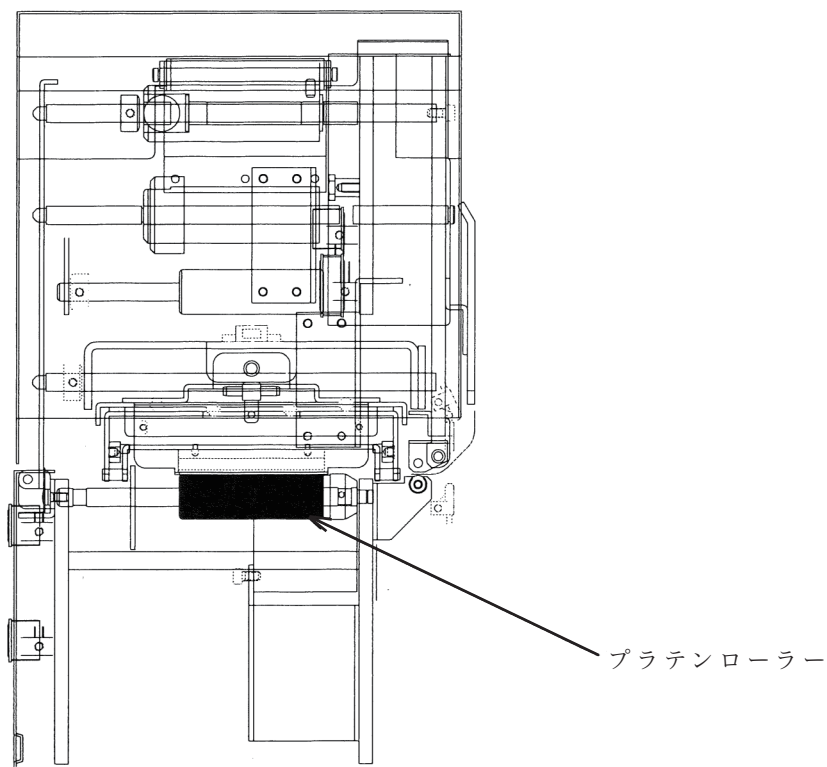
6-2 プラテンローラーの清掃

1. 電源スイッチを”OFF”にします。

※必ず電源スイッチを“OFF”にして行ってください。

2. プラテンローラーを指で回しながら、アルコールと綿棒で清掃します。

※付属品のペンクリーナーは、ヘッド専用です。ペンクリーナーでプラテンローラーを絶対に清掃しないでください。



第7章 正しく動作しないとき

7-1 ハード関係のエラー表示

エラー画面	原因	対処方法
E10 : キュウインエラー	タグが無いとき タグが正しくセットされて いないとき	“6-1 タグのセット”を参照して タグをセットしてください。
E11 : タグインエラー	タグが正常にヘッド下に 送られていないとき	タグの反りを直してください
E12 : バッドエラー	バットが正常に動作しない	“5-3 設定モード”を参照して バットUP / DOWN 速度を 下げてください。
E13 : ヘッドクドウエラー	ヘッドのアップダウンが 正常に動作しないとき	電源を入れ直してください。
E20 : リボンエンド	リボンを使い切ったとき	“4-6 リボンのセット”を参照 してリボンをセットして ください
E30 : ヘッドフリョウ	ヘッドが不良の時	弊社のメンテナンス部まで ご連絡ください。
E31 : ドットシフトエラー	ドットシフトが正常に動作 しないとき	弊社のメンテナンス部まで ご連絡ください。

7-2 オンライン関係のエラー表示

エラー画面	原因	対処方法
E01：シンタックスエラー	受信データ内の異常定義	インターフェース仕様書で再度転送データを確認してください
E02：フレーミングエラー	フレーミングエラーの発生	RS-232Cの設定が、HOSTとプリンタがあっているか確認してください。
E03：オーバーランエラー	オーバーランエラーの発生	RS-232Cの設定が、HOSTとプリンタがあっているか確認してください。
E04：パリティエラー	パリティエラーの発生	RS-232Cの設定が、HOSTとプリンタがあっているか確認してください。
E05：バッファオーバー	受信バッファオーバーの発生	セントロニクス時、“Busy”信号を確認して転送してください。 RS-232C時、“RTS/CTS”、“DSR/DTR”、“XON/XOFF”のいずれかの制御で正しく制御されているか確認してください。 (切替は“5-3モード設定”を参照してください)
E06：データケタスウエラー	固定データ長フィールドと転送データケタスウが一致しないことを示します。	データ桁数があっているか確認してください。

第8章 保守サービスおよび保証について

8-1 サービスを依頼される前に

ご使用中異常が発生したときは、次の点をお調べください。

見慣れない表示がしたとき、動かなくなったときには、故障かなと思う前にもう一度確認してください。

困ったときには

こんなとき	確認すること	直しかた
電源スイッチを“ON”にしても動作しない	電源のプラグが、コンセントに差し込まれていますか	プラグをコンセントに差し込んでください
印字が薄い	ヘッドが汚れていませんか	“7-1 ヘッドの清掃”を参照し、ヘッドを掃除してください
	ヘッドの電圧は低くありませんか	“5-3 設定 a モードのセット”を参照し、それぞれの値を調整してください
	ストローク No. は小さくありませんか	
印字の一部がでない	リボン、リボン巻取の紙管は正しくセットしていますか	“5-4 リボンのセット”を参照しリボンをセットしてください
	リボンサイドカバーは閉めていますか	リボンサイドカバーを閉めてください
印字がかすれる	リボンにシワはありませんか？	テイシ状態にして、フィードキーを押し、リボンを空送りしてください。
	ヘッドが汚れていませんか	“7-1 ヘッドの掃除”を参照し、ヘッドを掃除してください
	リボンサイドカバーを閉めていますか	リボンサイドカバーを閉めてください
印字位置が不安定	タグを正しくセットしていますか	“6-1 タグのセット”を参照しタグをセットしてください
	リボンサイドカバーは閉めていますか	リボンサイドカバーを閉めてください

以上のことをお調べいただいても、プリンターが動作しないときは、至急最寄りの弊社支店、営業所、サービスステーション、代理店または、お買い上げの販売店へ、型名と不具合の状況を詳しくご連絡ください。

8-2 サービスコールの受付日時

当社営業日：午前9時00分～午後5時30分まで
(弊社休日および祝祭日は、お休みとさせていただきます)

8 - 3 保守契約制度について

全国を広範囲にネットワークする弊社のアフターサービス網により、いつまでも安心してご使用いただける技術サポートを提供します。

保守契約制度とは、一定の保守料金により、お客様と弊社が年間契約するものです。契約期間中に発生した故障は、保守契約基準の範囲内で無償修理が保障されます。

保守契約により、お客様は一定の経費で1年間安心してご使用いただけます。

8 - 4 保守契約の手続きについて

プリンタ購入時または、保証期間終了前に弊社販売担当者にお申し込みください。

8 - 5 保証（保証書）について

保証期間は、お買上日より6ヶ月となっています。

保証書は、お買い上げの販売店でお渡ししますので、記載内容をご確認の上大切に保管してください。

保証書に保証期間、販売店名など所定事項の記入が無いと無効になります。もし記入されていない時はすぐにお買い上げの販売店へお申し出ください。万一故障した場合は、保証書の保証基準により、保証期間内は無料修理いたします。

詳しくは保証書をご覧ください。

8 - 6 消耗品について

弊社指定用紙・リボンを正しくご使用ください。

本プリンタは弊社指定の用紙を正しく使用した場合に限り、最良の印字品質を得られるように設計されております。弊社指定以外の用紙等をご使用になりますと印字品質が低下するばかりでなく、最悪の場合印字されたバーコードが読みとられなかったり、プリンタ本体の故障の原因となります。

従いまして、お客様がこれら弊社指定以外の用紙をご使用になって発生したいかなるトラブルも保証範囲外とさせていただきますので、ご注意ください。なお、用紙およびデザイン版下作成のお問い合わせは、お買い上げの販売店、販売担当者にご連絡ください。

OKABE

Marking Systems

オカベマーキングシステム株式会社 拠点網

● 東京本社

〒160-0022
東京都新宿区新宿1-5-10
TEL: 03-5379-5501 FAX: 03-5379-1084

● 名古屋営業所

〒461-0005
愛媛県名古屋市東区東桜2-10-1 ヤハギ東桜ビル2階
TEL: 052-937-5125 FAX: 052-937-5127

● 札幌営業所

〒064-0806
北海道札幌市中央区南6条西1-5 6・1ビル5階
TEL: 011-562-3525 FAX: 011-562-8280

● 大阪支店

〒532-0002
大阪府大阪市淀川区東三国2-34-1 ハイランドビル3階
TEL: 06-6397-1551 FAX: 06-6397-1555

● 仙台営業所

〒983-0044
宮城県仙台市宮城野区宮千代2-1-2 アイランドビル1階
TEL: 022-237-6251 FAX: 022-237-6253

● 広島営業所

〒733-0834
広島県広島市西区草津新町1-14-11 メゾン綱岡101
TEL: 082-276-5231 FAX: 082-276-5237

● 新潟サービスセンター

〒950-0963
新潟県新潟市中央区南出来島2-10-15 モンテ出来島2階
TEL: 025-284-2720 FAX: 025-283-5164

● 高松サービスセンター

〒760-0035
香川県高松市鶴屋町1-8 ルポーゼ・セルソ1階
TEL: 087-823-4570 FAX: 087-823-4587

● 金沢サービスセンター

〒921-8062
石川県金沢市新保本1-305
TEL: 076-269-3022 FAX: 076-269-3023

● 福岡支店

〒813-0034
福岡県福岡市東区多の津1-14-1 FRCビル7階
TEL: 092-622-7622 FAX: 092-621-1021

製品についてお困りの際は最寄りの拠点までご連絡ください。